

横並びのスタート あなたがいるところが居場所

記事：古賀 円

久留米市荘島町にあるコミュニティカフェ「ぶらっと・荘島」(運営：(一社)ぶらっととどっと)で、「8ぐらむCOFFEE」というプロジェクトが行われています。カウンターに横並びに立ち、8グラムの珈琲をドリップバッグに詰め、作業の後は全員で賄いを食べ雑談します。面と向かわず、横にいる人に手渡していき、一つずつ丁寧に出来上がっていく工程には静かな一体感があります。これは優しい珈琲の香り漂う場で、小さな偶然が重なり、そこに関わる人々の秘めた想いから生まれた出来事です。



林さんは、令和4年ぶらっと・荘島のことを知ります。当時、林さんは10代を家で過ごしていたため将来に不安を感じ、福岡県ひきこもり地域支援センター筑後サテライトオフィス(以下サテライト)に相談しました。サテライトの担当者と共にあらゆる所へ行き、その体験の中で会話が苦手な人が頑張っている姿を見て刺激を受けました。

雑談から生まれたアイデア

ある日、林さんは、ぶらっと・荘島に行き8ぐらむCOFFEEのプロジェクトに参加し、同じくサテライトに相談をしている荒巻さんと出会いました。最初は殆ど会話はなく、作業後に飲んだ珈琲に「大人の味だ」と呟いた林さんの言葉に、荒巻さんが軽く笑って、その日から2人は時折話すようになりました。

令和6年の春、林さんと荒巻さんはぶらっと・荘島の2階へ上がり、趣味の話や今の自分の状況などを話しました。林さんが「面白いことをしたい!」と伝えたと、トライアスロン経験者の荒巻さんと「福岡マラソンに出よう」という話になりました。それをぶらっと・荘島スタッフの秋満美沙子さんに伝えると盛り上がり、練習用のLINEグループが立ち上がりました。それから、市内のサブトラックで定期的に2人が走る場の人々がどんどん集まって来ました。

それぞれの理由

マラソン未経験の林さんの出場の理由は「世の中に色々な人がいることを知れたかった。老若男女みんな同じ条件でスタートからゴールまで走る。それを体験してみたかった」ということでした。荒巻さんは「林さんが一緒にやろうと言ったから、出てみようと思った。いつかは出られたら」と前から思っていたけれど、きつかけが無くて、ただ目標のタイムはあったから、それに向けて練習したと話します。林さんは荒巻さんに走り方や靴選びなどを相談しながら、2人はチームの練習以外でも走り込みを重ねました。本番が迫るにつれ、プレッシャーも感じながら、「みんなの気持ちを背負って走らなきゃ」という想いで、大会当日を迎えました。

大会当日朝8時20分、14,000人に及ぶ出場選手に交じって、2人もスタート。小雨の降る会場には仲間が駆けつけ、熱烈に2人を応援しました。林さんは折り返し地点で足が強烈に痛み、それでも走り続け、太腿が張ったまま完走を成し遂げました。荒巻さんも25キロ地点まで走って後半歩きながらも見事に完走。

サテライト担当者は「林さんは『どこまでやれるかやってみよう』と話してたから、望みを言える機会が増えてよかった。荒巻さんはレースの途中、みんなの声援に気づいてくれた気がした。2人の偶然が重なって、チームが生まれ、こんなチャレンジとなったのよね」と優しい表情で語ります。

大会を終えて

荒巻さんは「走っている間も『林さんはちゃんと走れているかな』と思ってたから、完走と聞いて『すごいな!』と感じた。機会があればまた出たい」と。林さんは「小さなことから大きなことになるとは思ってなくて、外に出て色々な選択をしたけれど、マラソンは過程も楽しく、一番変化があつて面白かった。支援員として応援してくれる人は沢山見たけれど、マラソンチームはそれを越えたものを感じた。ずっと家にいたから人を信用できなかったけれど、心の底から嬉しかった」と振り返りました。

その後、荒巻さんは2週間後に八女ハーフマラソンに出場し完走。林さんは打ち上げの最後に「またみんなで一緒に走りましょう!」と、その言葉は力強いものがありました。

偶然の重なりから、生み出された小さなストーリー。誰かの発意が誰かの原動力となり、何かを少しずつ変えようというエネルギーが循環します。2人のゴールからまた新たに何かがスタートします。

林さんマラソン大会までの道のり

- 令和4年 8月 福岡県ひきこもり地域支援センター 筑後サテライトオフィス(以下サテライト)に出向く
- 令和5年 4月 サテライトの紹介で、人の集まるいろんな場所に担当者と一緒にしてみる
- 令和6年 2月 8ぐらむCOFFEEで、荒巻さんと出会う
- 5月 荒巻さんとの雑談の中で、2人でマラソン大会に出ることを決める
- マラソンの練習を始める
- 2人に関係する人達とのLINEグループができる
- 6月 練習を重ね、応援チームが徐々にできてくる
- その後2人はアルバイトを始める
- 7月 マラソンチームのメンバーも一緒に走り始める
- 11月 荒巻さんと福岡マラソン2024に出場
- 12月 福岡マラソン2024 打ち上げ開催



相談に来てくれる人それぞれの思いを尊重し、本人が持つ力を信じて関わらせていただいています。8ぐらむCOFFEEは、無理に話さなくてもいいし、柔らかな人と繋がる場だと思います。

福岡県ひきこもり地域支援センター 筑後サテライト
コーディネーター(担当者)



居場所という言葉が嫌いな。居場所は誰かが作るものじゃなくて、あなたがただいて、そこが居場所って思う。ひとりでもいい。ひとりでいられるなんて最高!

ぶらっと・荘島 秋満 美沙子 さん



事業を担う「個」の集合体
久留米 AU-formal 実行委員会

市民活動団体で活動する個人が集まり結成。今年度から参加支援事業を担います。



※写真は、林さんと共に走るマラソンチームの様子

特別号
叶え合う支援
詳細掲載!

グッチョ
Vol.36 特別号

